



並木中等進路だより

NO. 6

DEC 9, 2013

保護者面談資料

後期生

茨城県立並木中等教育学校学習進路部

2014年度入試動向とセンター後の2次出願ポイント

11月29日に大学入試センター試験の最終志願者数が発表されました。昨年度の57万3344人より**1万2674人減り、56万670人**となっています。これは18歳人口が大幅に減少(約5万人)したせいですが、**既卒生(浪人生)の数は増えています**。各社(駿台・河合塾・ベネッセ等)の模擬試験による志望校分析によると、来年度入試においても、**文低理高/文減理増**(文系志望者数が低く理系志望者数が高いこと)は続く傾向にあるようです。各大学の難易度では、特に難関大においては上位層の人数は例年と変わらないため、難易度の変化は特にないと思われます。一方で人気のない地方の私立大学等では受験生が定員に満たない場合も出てきます。

あと1ヵ月余り(1月18・19日)で6年生はセンター試験を迎えるわけですが、その後、自己採点、担任との面談、前後期出願校決定と10日余りのうちに目まぐるしい日々を過ごすこととなります。国立大入試はセンター試験だけで決まるわけではありません。自分の2次得点力やこれからの伸びしろ、センター試験全体の難易度などを客観的に考えて判断する必要があります。2013年度入試では前年度に比べて全体の平均点が大幅にダウンしたため、弱気になり上位校を中心に出願を諦めた者が多く出ました。その結果どうということが起こったか? 東大の文一では、センター試験の前身である共通一次が始まった1979年以来なんと34年ぶりに、第一段階選抜(足切り)での不合格者が0という結果を招きました。**平均点がダウンした時は出願校決定を強気に、平均点がアップした時は出願校決定を慎重に**、というのがセンター後の出願校決定でのポイントです。

文理選択・科目選択決定

4・5年次では、10月に保護者向けと生徒向けの2回、進路説明会が開かれ、4年生は来年の文理選択、5年生は科目選択についてそれぞれ説明がありました。担任や副担の先生との面談を経て、今回の保護者面談でほぼ最終決定となります。皆さん分っているように、「文理選択や科目選択」=「進路選択」でもあります。今までの「進路講演会」や「大学出前授業」、「オープンキャンパス参加」(5年)、「主要大学説明会」(4年)、「マイフューチャーセミナー」、「東大・東工大・一橋大訪問」(4年)などを通して、その都度真剣に考えてきた人は、ある程度、将来の目標が定まってきたと思います。とは言え、今あらためて自分の進路について悩み始めた人もたくさんいることでしょう。悩んで当然、自分の大切な人生について悩まない人のほうがおかしい。ただあまりに悩みすぎて勉強も手につかないなんてことにはならないように(そんな人はいないかな?)。

進路選択は、自分の可能性を広げるための選択でもあります。みんなの可能性は無限大です。くれぐれも、将来の可能性を狭めるような選択とならないように気をつけてください。「自分は数学できないから理系に行こう」とか「数Ⅲは難しそうだから数ⅡBまでの選択にしよう」といったネガティブな理由からではなく、もっとポジティブに自分の進路を考えていってください。自分の可能性を広げられるのは自分自身です。そのためにも自分で努力し、自分で調べ、両親や先生たちのアドバイスを参考にしてください。

進路と学習に関する意識調査結果

後期課程では、並木独自の「進路・学習に関する意識調査」を年2回、6月と11月に実施し、生徒たちの進路や学習に関する意識や学習状況を把握しています。また、分析した結果をもとに学年や担任が有効活用し、面談や生徒理解のための資料としています。今回、ぜんぶで45項目あるうちの一部をご紹介します。(数字は調査時の人数)

【進路について家族の受け止め方】（各年次）

	中6	中5	中4
自分の考えを尊重し十分に理解してくれている	79	74	95
自分に任されている	22	32	33
自分の考えにあまり理解を示してくれない(反対されている)	1	4	11
ほとんど話し合ったことがない	5	4	13



親が自分の進路について理解してくれていると思っている生徒は多いようです。親としては、まず子どもの考えをよく聞き、それを認めてあげてから、自分たちの経験や価値観を話してあげることが大切です。また、生徒たちは、人生のよき先輩として、親の意見をしっかりと参考にすべきです。自分の将来を一番心配してくれている大人は、他にもない自分の両親なのですから。この表でちょっと心配なのは、「ほとんど話し合ったことがない」と答えている生徒がいることです。親としては子どもを信頼して子どもに任せているつもりでも、それが十分子どもに伝わっていないことがあります。以心伝心もいいですが、コミュニケーションもしっかりととることが肝要です。

【中4 これからの学生生活で一番したいことは】（推移）

	4年6月	4年11月
将来の進路を見つめ、学力をつけたい	85	92
部活動で活躍し高校生活を充実させたい	18	18
多くの友人を作り楽しい高校生活を送りたい	34	25
特にやりたいことはない	13	12

【中5 これからの学生生活で一番したいことは】（推移）

	4年6月	4年11月	5年6月	5年11月
将来の進路を見つめ、学力をつけたい	84	81	84	91
部活動で活躍し高校生活を充実させたい	10	6	11	7
多くの友人を作り楽しい高校生活を送りたい	21	22	12	6
特にやりたいことはない	2	3	5	9

「これからの学生生活で一番したいこと」を見てみると、中等4年生も5年生も、徐々に進路への意識が高まってきている人の割合が増えています。このやる気が行動に繋がれば、とても大きな成果となるはず。次に、学習時間の実際を見てみましょう。

【中4 家庭での学習時間】（推移）

	4年6月	4年11月
ほとんどやらない	7	5
30分程度	18	12
1時間程度	48	53
2時間程度	63	70
3時間程度	8	12
4時間程度	1	0
5時間程度	0	0
6時間以上		0

【中4 休業日の学習時間】（推移）

	4年6月	4年11月
ほとんどやらない	2	4
30分程度	9	5
1時間程度	24	13
2時間程度	42	40
3時間程度	51	51
4時間程度	19	25
5～6時間	9	10
7～8時間		3
9時間～		0

【中5 家庭での学習時間】（推移）

	4年6月	4年11月	5年6月	5年11月
ほとんどやらない	4	1	0	1
30分程度	12	6	3	2
1時間程度	28	23	10	6
2時間程度	58	49	52	45
3時間程度	12	30	45	50
4時間程度	3	2	2	8
5時間程度	0	1	0	1
6時間以上				1

【中5 休業日の学習時間】（推移）

	4年6月	4年11月	5年6月	5年11月
ほとんどやらない	1	1	0	0
30分程度	1	2	0	1
1時間程度	9	3	0	0
2時間程度	36	24	10	7
3時間程度	33	30	26	27
4時間程度	28	40	53	40
5～6時間	9	11	23	31
7～8時間				7
9時間～				1

【中6 家庭での学習時間】（推移）

	4年6月	4年11月	5年6月	5年11月	6年6月	6年11月
ほとんどやらない	1	5	8	5	3	2
30分程度	10	11	5	3	0	0
1時間程度	35	36	22	23	9	2
2時間程度	58	47	54	51	22	2
3時間程度	10	13	18	23	39	11
4時間程度	0	1	1	6	22	20
5時間程度						37
6時間以上	0	0	0	0	17	34

【中6 休業日の学習時間】（推移）

	4年6月	4年11月	5年6月	5年11月	6年6月	6年11月
ほとんどやらない	2	5	4	4	0	1
30分程度	2	2	1	1	1	0
1時間程度	13	13	12	7	1	0
2時間程度	31	38	19	17	6	2
3時間程度	36	29	38	40	12	2
4時間程度	22	21	27	30	26	4
5～6時間						15
7～8時間	8	5	7	12	66	27
9時間～						58



受験生である**6年生の半数以上が平日5時間以上、休日9時間以上**、授業以外に勉強時間を確保しています。この時期としては当たり前のことですが、放課後毎日、教室、ブライツホール、進路室、図書室、そしてSSS(Self Study Space)等で遅くまで勉強している6年生の姿が見られます。冬休みも生活のリズムを崩さずに頑張っておきたいものです。4年生・5年生は是非先輩たちの頑張りを模範として家庭学習時間を確保して下さい。6年生の中には「もっと早くから勉強時間を確保しておけばよかった」と思っている人もたくさんいます。

実力 = 努力 × 時間

という方程式を忘れないように！

東京3大学訪問報告

【進路委員コーナーその1】

中等4年生では、文理選択について考える一環として、11月18日に、午前中、東京大学、午後は文系希望者が一橋大学、理系希望者が東京工業大学を訪問してきました。

東京大学では、熊谷直哉先生による講義を聴き、大学生活や研究者としての心構えなどを話していただきました。午後の一橋大学と東京工業大学では、学食で昼食を食べたり、大学生にキャンパス内を案内していただいたりしました。今回訪問した3大学について、4年生の進路委員、芦田/エルさん、平井里加子さん、梁淑恵さんが報告をしてくれます。

東京大学



東京大学は国立の大学で日本一と言われています。文一(法学)、文二(経済)、文三(文・教育・教養)、理一(工学・理学[物理・化学系])、理二(農学・工学・理学[生物・化学系]・薬学)、理三(医学)といった学部があります。東京大学は、リベラルアーツ教育を重視しています。そのため、進学振り分けという制度があり、大学入学後いきなり専門分野にとらわれるのではなく、興味を持ったことはなんでも広く学ぶことができるようになっています。

理系:東京工業大

東工大では、主にスーパーコンピューターについてお話を頂いた。スーパーコンピューターとは、科学技術計算を主要とする大規模コンピューターである。東工大のスパコン「TSUBAME」の優れている点は、圧倒的な省エネ力だ。最新の「TSUBAME2.5」は従来の「TSUBAME2.0」の3.6倍の性能を持ちながら、消費電力の増加はわずか1.3倍。このような東工大の省電力に対する努力が実り、11月21日に発表されたスパコンの省エネ性能を競う世界ランキングで見事、東工大が世界一に輝いた。ちなみに3位には筑波大の「HA-PACS」が入った。今後ますます、スパコンが活躍することを期待したい。座談会にて東工大生から大学について話を聞いた。最も印象に残ったものとして、教授1人における生徒数の少なさと、生徒1人にかかる費用が高いということがあった。生徒1人にかかる費用が年間約100万円とあり、自分のやりたいと思った実験や工作などを比較的自由にやることができる。好奇心旺盛の生徒にはとても合う大学だと私は感じた。

文系:一橋大学

一橋大学は国立の大学で、文系の学校です。商学、経済学、法学、社会学といった学部があります。一橋大学は、少人数教育に力を入れており、全学部の入学定員の合計は一学年1000人ほどです。少人数教育の特徴としてゼミナール制度があり、教員一人に対して10人前後の生徒というかたちで講義が行われています。



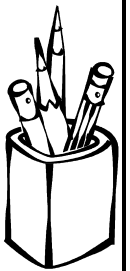
勉強十戒

【進路委員コーナーその2】

5年A組の進路委員、稲葉千尋さんと加藤美味さんは、5年次の集会で年次主任の飯田仁先生が話してくれた「勉強十戒」について紹介してくれます。

先日、5年次の集会の中で、主任の飯田先生が赤尾好夫作の勉強十戒を紹介してくれました。その言葉に強く心を打たれたので5年生以外のみなさんにもご紹介したいと思います。

- 1 学習の計画を立てよう ~計画のないところに成功はない~
- 2 精神を集中しよう ~集中の度合いが理解の度合いである~
- 3 ムダをはぶこう ~戦略の第一は時間の配分にある~
- 4 勉強法を工夫しよう ~工夫なき勉強に能率の向上はない~
- 5 自己のペースを守ろう ~他を見ればスピードは落ちる~
- 6 断じて途中でやめるな ~中断はゼロである~
- 7 成功者の言に耳を傾けよう ~暗夜を照らす灯だ~
- 8 現状に対し臆病になるな ~逃避は敗北である~
- 9 失敗を謙虚に反省しよう ~向上へのクッションがそこにある~
- 10 大胆にして細心であれ ~小心と粗放に勝利はない~



世界大学ランキング2013

イギリスのタイムズ誌が毎年発行している Times Higher Education が「世界大学ランキング2013」を発表しました。日本およびアジアの大学でもっともランクが高かったのは**東京大学で、23位**と昨年の27位から4つランクを上げています。おそらくグローバル教育に向けた改革等が認められた結果かもしれません。しかし、アジアの中ではどうか首位をキープしているものの、アメリカやイギリスのトップの大学には大きく水をあけられているのが現状です。さらに、グローバル教育に力を入れている韓国ではソウル大学が124位(2011)→59位(2012)→44位(2013)ともものすごい勢いで追い上げてきています。ちなみに、**京都大学は52位**で、シンガポール大学(26位)、香港大学(43位)、北京大学(45位)等の下となります。将来、並木中等からも東大を超える大学にチャレンジする人たちが多数出てくることを期待しています。参考までに今年の1位~30位までの大学を載せておきます。

① カリフォルニア工科大学 (アメリカ)	⑪ エール大学 (アメリカ)	⑳ ロンドン大学 (イギリス)
② ハーバード大学 (アメリカ)	⑫ カリフォルニア大学ロサンゼルス校 (アメリカ)	㉑ ノースウェスタン大学 (アメリカ)
③ オックスフォード大学 (イギリス)	⑬ コロンビア大学 (アメリカ)	㉒ 東京大学 (日本)
④ スタンフォード大学 (アメリカ)	⑭ スイス連邦工科大学チューリヒ校 (スイス)	㉓ カーネギーメロン大学 (アメリカ)
⑤ マサチューセッツ工科大学 (アメリカ)	⑮ ジョーンズ・ホプキンス大学 (アメリカ)	㉔ ワシントン大学 (アメリカ)
⑥ プリンストン大学 (アメリカ)	⑯ ペンシルバニア大学 (アメリカ)	㉕ シンガポール大学 (シンガポール)
⑦ ケンブリッジ大学 (イギリス)	⑰ デューク大学 (アメリカ)	㉖ テキサス大学オーステイン校 (アメリカ)
⑧ カリフォルニア大学バークレー校 (アメリカ)	⑱ ミシガン大学 (アメリカ)	㉗ ジョージア工科大学 (アメリカ)
⑨ シカゴ大学 (アメリカ)	⑲ コーネル大学 (アメリカ)	㉘ イリノイ大学アーバナ・シャンペーン校 (アメリカ)
⑩ インペリアル・カレッジ・ロンドン (イギリス)	㉚ トロント大学 (カナダ)	㉙ ウィスコンシン大学マディソン校 (アメリカ)